

2010年度

| | | | |
|----------------|--|-----|-------|
| 科目名 | 中国語 I (コミュニケーション) | | |
| 担当教員 | 井戸 有紀 | | |
| 配当 | 薬学1 | コード | 25040 |
| 開期 | 通年 | 講時 | 火曜日5限 |
| | | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 中国語の全体像を把握し、発音を中心とする中国語の基礎を習得する | | |
| 目的と概要 | 現代中国語を修得するための基礎を学習します。中国語がどのような言語かをイメージできるようにまずは概説から入り、続いて発音を表す「ピンイン」や音の高低を表す「声調」、「簡体字」と呼ばれる独特の字体を学習します。この授業では、コミュニケーションの土台となる正しい発音を身につけるために、音声面の学習に重点を置いて練習します。また、生活に密着した口語表現を学ぶ中で、使用頻度の高い基本語および初歩的な文法知識を学習します。 | | |
| 成績評価法 | 筆記試験70%、発音・小テスト・提出物等各10%。前後期とも欠席4回で試験の受験資格を失います。(出席状況や平生の授業態度について、最終成績の素点に±10%の範囲で考慮する場合があります。) | | |
| テキスト | 『《最新版》中国語はじめの一步』(白水社) | | |
| 参考書 | 辞書を含め適宜指示します。 | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 初めて習う言語に対して不安な気持ちがあるかも知れませんが、思い切って中国語の扉を開けてみてください。きっと、新鮮な感動と知的な興奮に満ちたもう一つの世界が待っています。上達のコツは「好きになること・無心に発音をまねること・真面目に覚えること」、この三つです。 | | |
| 講義計画 | | | |
| 1. 中国・中国語とは | 中国・中国語についての概説と学習アンケート。 | | |
| 2. 発音の基礎 | 中国語の特徴の一つである声調について・母音・子音の練習とピンイン表記。 | | |
| 3. 発音の基礎 | 発音練習。簡体字の紹介。簡体字・声調・ピンインをセットで覚える習慣を付ける。 | | |
| 4. 第一課 | 人称代名詞・「是」の文 | | |
| 5. " | " | | |
| 6. 第二課 | 指示代名詞・疑問詞疑問文・所有の「的」・副詞「也」 | | |
| 7. " | " | | |
| 8. 第三課 | 動詞の文・所有の「有」・省略疑問の「口尼」 | | |
| 9. " | " | | |
| 10. 第四課 | 助数詞・指示代名詞(2)・形容詞・数の尋ね方 | | |
| 11. " | " | | |
| 12. 発音の確認 | 個別に正しい発音が身に付いているかを確認。 | | |
| 13. 前期の総復習 | 前期の学習内容が身に付いているかを確認。 | | |
| 14. 中国映画鑑賞(前半) | 比較的聞き取りやすい中国語の映画を、聞き取れる単語を探しながら鑑賞する。 | | |
| 15. "(後半) | " | | |
| 16. 前期の復習と文化紹介 | 前期の勘を取り戻すように練習。また、中国の書籍や写真や音楽などを紹介。 | | |
| 17. 第五課 | 完了の「了」・存在の「有」「在」 | | |
| 18. " | " | | |
| 19. 第六課 | 数字・日付と時刻・「いつ？」の尋ね方 | | |
| 20. " | " | | |
| 21. 第七課 | 介詞(1)・反復疑問文 | | |
| 22. " | " | | |
| 23. 第八課 | 時間量を表す語・「しなければならない」の「得」・介詞(2) | | |
| 24. " | " | | |
| 25. 第九課 | 経験のアスペクト・「是～的」の構文・介詞(3) | | |
| 26. " | " | | |
| 27. 中国映画鑑賞(前半) | ナチュラルスピードで既習の文章が聞き取れるかどうか力試ししつつ鑑賞する。 | | |
| 28. "(後半) | " | | |
| 29. 後期総復習 | 後期の学習範囲が身に付いているかを確認する。 | | |
| 30. 一年間の総まとめ | 一年間で中国語の基礎が身についたかを確認。今後の学習についてアドバイス。 | | |